平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名　浜松ホトニクス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6965　URL　http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 晝馬　明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 嶋津　忠彦　TEL 053-452-2141

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	23,674	△4.1	4,271	△13.7	4,454	△11.4	2,931	△1.6
23年9月期第1四半期	24,684	26.6	4,947	174.8	5,029	186.9	2,977	146.3

(注)包括利益　24年9月期第1四半期　2,724百万円　(12.4%)　23年9月期第1四半期　2,423百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	36.46	―
23年9月期第1四半期	37.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	185,358	134,385	72.1
23年9月期	188,091	133,434	70.5

(参考) 自己資本　24年9月期第1四半期　133,610百万円　23年9月期　132,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	22.00	―	22.00	44.00
24年9月期	―				
24年9月期(予想)		23.00	―	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,800	4.4	11,700	5.4	11,800	2.0	7,600	9.5	94.53
通期	107,700	5.7	22,200	1.7	22,400	0.8	14,700	7.3	182.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	83,764,984 株	23年9月期	83,764,984 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	3,370,025 株	23年9月期	3,370,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	80,394,959 株	23年9月期1Q	80,395,160 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における経営環境は、欧州の債務危機などを背景とした海外経済の減速や円高の影響等により、景気は持ち直しの動きが一服する中で推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、長年培った当社独自の光技術のさらなる向上を図りつつ、顧客ニーズに応えた製品開発を推し進め、新規市場開拓を始めとした積極的な営業活動に努めることで、売上高、利益の拡大に努力してまいりましたが、当第１四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は23,674百万円と前年同期に比べ1,009百万円（4.1%）の減少となりました。また、利益面につきましても、営業利益は4,271百万円と前年同期に比べ676百万円（13.7%）の減少、経常利益は4,454百万円と前年同期に比べ575百万円（11.4%）の減少、四半期純利益は2,931百万円と前年同期に比べ46百万円（1.6%）の減少となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔電子管事業〕

光電子増倍管は、医用分野におきまして、ＰＥＴ・ＳＰＥＣＴ用など核医学画像診断装置向けの売上げが、北米及びアジアを中心に伸び悩んだものの、油田探査装置向けの売上げが北米を中心に堅調に推移するなど、計測機器分野におきまして売上げが増加いたしました。また、イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、Ｘ線診断装置向けの売上げが伸び悩んだものの、産業分野におきまして、アジア向けを中心に売上げが堅調に推移いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は10,613百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は4,103百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

〔光半導体事業〕

光半導体素子は、医用分野におきまして、歯科用のＸ線診断装置向けイメージセンサが、欧州を中心に売上げが増加したものの、主力のシリコンフォトダイオードが、国内外ともに売上げが減少いたしました。また、産業分野におきましては、手荷物検査用のシリコンフォトダイオードは堅調に推移したものの、半導体検査向けのイメージセンサの売上げが減少いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は10,079百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は3,645百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

〔画像計測機器事業〕

画像処理・計測装置は、発光材料評価用途向けの新製品、小型蛍光寿命測定装置及び小型絶対ＰＬ量子収率測定装置が売上げを伸ばしたものの、バイオ分野などの研究開発用途向けのデジタルカメラが、北米を中心に売上げが減少したほか、産業分野におきましても、半導体故障解析装置がアジア及び欧州を中心に、売上げが減少いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は2,252百万円（前年同期比27.4%減）、営業利益は１百万円（前年同期比99.5%減）となりました。

〔その他事業〕

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント（その他）の売上高は728百万円（前年同期比16.8%増）、営業損失は126百万円（前年同期は営業損失131百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

流動資産の主な変動は、たな卸資産が1,720百万円増加したものの、現金及び預金が2,326百万円、譲渡性預金の減少により有価証券が1,500百万円及び売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が1,125百万円それぞれ減少したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ3,129百万円減少しております。

固定資産の主な変動は、建設仮勘定の増加などにより、有形固定資産が392百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ396百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,733百万円減少し、185,358百万円となりました。

流動負債の主な変動は、預り金（流動負債のその他）が増加したものの、未払法人税等が3,106百万円及び賞与引当金が1,953百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ3,590百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、退職給付引当金が151百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ93百万円減少しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ3,684百万円減少し、50,973百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が174百万円減少したものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が1,159百万円増加したことなどから、当第１四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ950百万円増加し、134,385百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年９月期の第２四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月７日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、１米ドル＝75円、１ユーロ＝110円を想定しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,073	68,746
受取手形及び売掛金	23,781	22,656
有価証券	1,500	－
商品及び製品	6,014	5,851
仕掛品	11,183	12,390
原材料及び貯蔵品	5,147	5,824
その他	4,986	5,085
貸倒引当金	△145	△141
流動資産合計	123,542	120,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,008	23,526
機械装置及び運搬具（純額）	8,009	8,096
工具、器具及び備品（純額）	2,610	2,704
土地	15,565	15,747
リース資産（純額）	275	292
建設仮勘定	1,777	2,273
有形固定資産合計	52,247	52,640
無形固定資産	1,581	1,615
投資その他の資産		
投資有価証券	2,052	2,022
繰延税金資産	7,130	7,133
その他	1,554	1,552
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	10,719	10,689
固定資産合計	64,549	64,945
資産合計	188,091	185,358
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,454	13,280
短期借入金	865	963
1年内返済予定の長期借入金	281	277
未払法人税等	4,698	1,592
賞与引当金	3,398	1,445
その他	8,999	10,548
流動負債合計	31,698	28,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年９月30日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	7,326	7,280
退職給付引当金	13,929	13,777
役員退職慰労引当金	1,245	1,316
その他	457	490
固定負債合計	22,958	22,865
負債合計	54,657	50,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	74,902	76,062
自己株式	△6,048	△6,048
株主資本合計	138,455	139,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	117
為替換算調整勘定	△5,948	△6,122
その他の包括利益累計額合計	△5,785	△6,005
少数株主持分	764	774
純資産合計	133,434	134,385
負債純資産合計	188,091	185,358

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	24,684	23,674
売上原価	12,220	11,300
売上総利益	12,464	12,373
販売費及び一般管理費	7,516	8,102
営業利益	4,947	4,271
営業外収益		
受取利息	37	41
投資不動産賃貸料	36	36
為替差益	－	49
持分法による投資利益	26	31
その他	45	71
営業外収益合計	146	230
営業外費用		
支払利息	26	29
不動産賃貸費用	17	14
為替差損	7	－
その他	11	3
営業外費用合計	64	47
経常利益	5,029	4,454
特別利益		
固定資産売却益	0	5
貸倒引当金戻入額	15	－
その他	0	－
特別利益合計	16	5
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	44	9
投資有価証券評価損	213	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	99	－
特別損失合計	366	10
税金等調整前四半期純利益	4,679	4,448
法人税等	1,683	1,492
少数株主損益調整前四半期純利益	2,995	2,956
少数株主利益	18	24
四半期純利益	2,977	2,931

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,995	2,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	△45
為替換算調整勘定	△657	△178
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△8
その他の包括利益合計	△572	△231
四半期包括利益	2,423	2,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,420	2,711
少数株主に係る四半期包括利益	3	12

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,398	10,558	3,103	24,060	623	24,684	―	24,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	362	256	60	679	166	846	△846	―
計	10,761	10,815	3,163	24,740	790	25,530	△846	24,684
セグメント利益又は損失（△）	4,057	3,748	380	8,186	△131	8,055	△3,107	4,947

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△3,107百万円には、セグメント間取引消去△359百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,748百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	電子管	光半導体	画像計測機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,613	10,079	2,252	22,945	728	23,674	―	23,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	299	100	7	407	130	537	△537	―
計	10,912	10,180	2,260	23,353	858	24,212	△537	23,674
セグメント利益又は損失（△）	4,103	3,645	1	7,750	△126	7,624	△3,352	4,271

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△3,352百万円には、セグメント間取引消去△172百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。